



# さくよう

題字：菊陽北小学校6年 鳥栖 明日香さん（現在中学1年）

第9回 富士フィルム九州

感謝 Day!

Cherry Blossom Festival

さくら



## 主な内容

平成29年度予算	P 2
議案及び議員賛否表	P 4～5
各常任委員会報告	P 6～8
一般質問（6人）	P 9～11
議会モニター	P 12
特別委員会報告	P 13
マイタウン	P 14
屋久島訪問記	P 15
政務活動費報告	



菊陽町議会フェイスブック  
携帯電話で左記の2次元コード  
を読み取るとアクセスできます。

# 平成29年度予算 賛成多数で可決

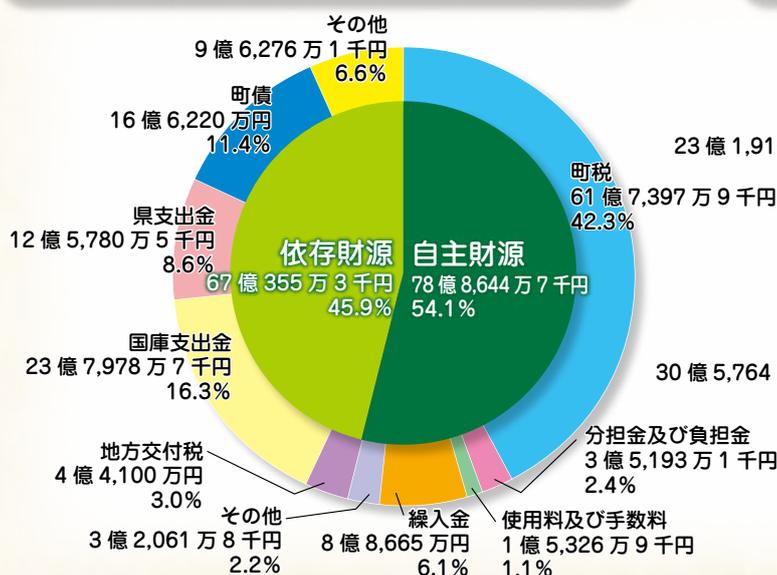
## 総額 215億3,290万6千円

◇ 一般会計 145億9,000万円

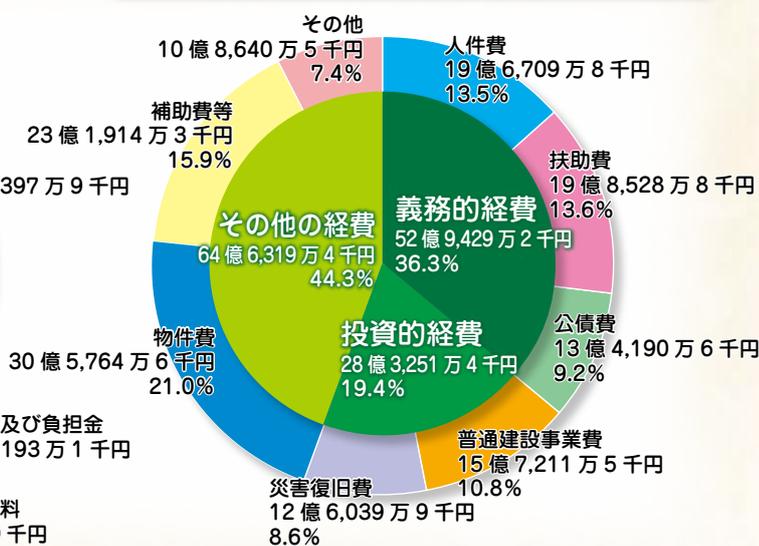
◇ 特別会計

- 土地取得特別会計 113万5千円
- 国民健康保険特別会計 40億8,331万5千円
- 後期高齢者医療特別会計 3億4,067万5千円
- 介護保険特別会計 25億1,778万1千円
- 下水道事業会計予算 収入13億7,862万9千円  
支出13億6,334万7千円

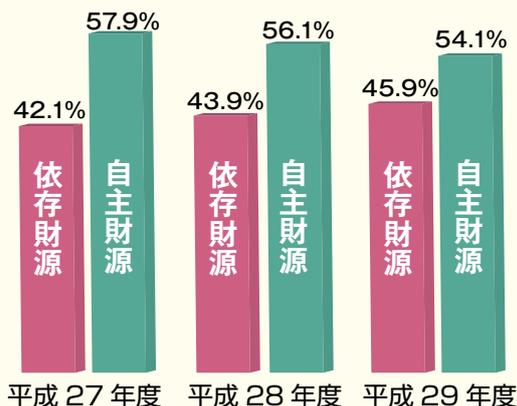
### 一般会計歳入 145億9,000万円



### 一般会計歳出 145億9,000万円



### 財源比率 (一般会計)



### 依存財源が年々増加している。

平成29年度予算の一般会計の歳出において、熊本地震による災害復旧費が約12億6,000万円昨年度よりも増加。これにともない一般会計の総額が昨年度予算より13億9,000万円増加となっている。

災害復旧に関する財源に、依存財源が多く含まれていることから、平成29年度の依存財源の割合が増加している。

# 〈平成28年度補正予算〉

## ◇議案第6号

### 平成28年度菊陽町 一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ7億1,183万4千円を減額し、総額を170億6,795万5千円とする。

理由：年度末を迎え、国県支出金などの収入額が決定しているものなどの歳入の補正や事業の進捗状況等により見直しをおこなった歳出の補正。

## ◇議案第7号

### 平成28年度菊陽町国民健康保険 特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ430万4千円を減額し、総額を42億4,615万3千円とする。

理由：歳入では、国庫支出金、前期高齢者交付金、県支出金を増額して、療養給付費等交付金、共同事業交付金、繰入金を減額。歳出では、保険給付費を増額し、後期高齢者支援金等、介護納付金、共同事業拠出金を減額。

## ◇議案第8号

### 平成28年度菊陽町後期高齢者医療 特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ1,390万2千円を減額し、総額を3億2,164万9千円とする。

理由：歳入は、後期高齢者医療保険料と繰入金を減額。歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金を減額。

## ◇議案第9号

### 平成28年度菊陽町介護保険 特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ1億2,394万4千円を減額し、総額を22億7,366万3千円とする。

理由：歳入は、国県からの交付決定に伴う国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及び繰入金を減額。歳出は、事業見込みに基づき、保険給付金、地域支援事業費を減額。

## ◇議案第10号

### 平成28年度菊陽町下水道事業会計補正予算(第4号)

収益的収入及び支出について、事業収益を220万2千円減額し、13億7,795万2千円。事業費用を220万2千円減額し、13億6,938万3千円とする。

資本的収入及び支出について、資本的収入を1,280万円減額し、7億4,957万8千円。資本的支出を1,280万円減額し、11億966万円とする。

理由：使用料の増額及び維持管理費、建設改良費の減額。

# 全議案を

## 可決

◇議案第3号  
菊陽町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

### 《内容》

介護保険法施行令の一部が改正されたことに伴い、地方自治法の規定により、議決を求める。

全員賛成で可決

◇承認第1号  
専決処分承認を求めることについて（損害賠償額の決定）

### 《内容》

菊陽町大字戸次地内の陥没箇所で起きた事故の損害賠償について議会に報告し、承認を求める。

全員賛成で可決

◇議案第4号  
菊陽町営住宅条例及び町営住宅駐車場設置管理条例の一部を改正する条例の制定について

### 《内容》

◇議案第2号  
職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### 《内容》

地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、議決を求める。

全員賛成で可決

おいて公共下水道を使用する受益者に対する分担金の賦課、徴収等に関する事項を定めることに伴い、条例の一部を改正する必要があるため、議決を求める。

全員賛成で可決

◇議案第6号  
平成28年度菊陽町一般会計補正予算（第9号）について

全員賛成で可決

◇議案第7号  
平成28年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

全員賛成で可決

◇議案第8号  
平成28年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について

全員賛成で可決

◇議案第9号  
平成28年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第3号）について

全員賛成で可決

◇議案第10号  
平成28年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第4号）について

全員賛成で可決

◇議案第11号  
町道路線の認定について

### 《内容》

道路法第8条第1項の規定により、菊陽町内7カ所を町道路線と認定するため議決を求める。

全員賛成で可決

◇議案第12号  
平成29年度菊陽町一般会計予算について

賛成多数で可決

◇議案第13号  
平成29年度菊陽町土地取得特別会計予算について

全員賛成で可決

◇議案第14号  
平成29年度菊陽町国民健康保険特別会計予算について

賛成多数で可決

◇議案第15号  
平成29年度菊陽町後期高齢者医療特別会計予算について

賛成多数で可決

◇議案第16号  
平成29年度菊陽町介護保険特別会計予算について

賛成多数で可決

◇議案第17号  
平成29年度菊陽町下水道事業会計予算について

全員賛成で可決

◇議案第18号  
菊陽町部設置条例の一部を改正する条例の制定について

《内容》

産業建設部を「経済部」、土木部」に改める。

全員賛成で可決

◇同意第1号  
菊陽町教育委員会教育長の任命につき議会の同意を求めることについて

《内容》

菊陽町教育委員会教育長に次の者を任命したいの

で、同意を求める。  
菊陽町大字原水  
上川 幸俊様  
生年月日  
昭和30年4月6日

全員賛成で同意

◇発議第1号  
無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書（案）

### 《内容》

政府は防災の観点から、2020年までに約3万カ所のWi-Fi環境の整備を目指しているが、更なる整備促進のため、Wi-Fi環境の整備を行う地方公共団体に対して、財政的支援措置を導入することを含めて提案する。（西本友春）

全員賛成で可決

◇発議第2号  
菊陽町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

《内容》

「産業建設部」を「経済部及び土木部」に改める。

全員賛成で可決

全員賛成で可決

# 平成29年第1回菊陽町議会定例会

## 付議事件

承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（損害賠償の額の決定）
議案第2号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	菊陽町介護保険条例の一部を改正する管理条例の制定について
議案第4号	菊陽町営住宅条例及び町営住宅駐車場設置管理条例の一部を改正する条例の制定について
議案第5号	菊陽町都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第6号	平成28年度菊陽町一般会計補正予算（第9号）について
議案第7号	平成28年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
議案第8号	平成28年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
議案第9号	平成28年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第3号）について
議案第10号	平成28年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第4号）について
議案第11号	町道路線の認定について
議案第12号	平成29年度菊陽町一般会計予算について
議案第13号	平成29年度菊陽町土地取得特別会計予算について
議案第14号	平成29年度菊陽町国民健康保険特別会計予算について
議案第15号	平成29年度菊陽町後期高齢者医療特別会計予算について
議案第16号	平成29年度菊陽町介護保険特別会計予算について
議案第17号	平成29年度菊陽町下水道事業会計予算について

## 付議事件（追加）

発議第1号	無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書
議案第18号	菊陽町部設置条例の一部を改正する条例の制定について
同意第1号	菊陽町教育委員会教育長の任命につき議会の同意を求めることについて
発議第2号	菊陽町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

## 賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		大久保	阪本俊	西本	那須	佐々木	中岡	吉本	吉山	北山	坂本秀	石原	岩下	大塚	川俣	上田	小林	甲斐
		賛成	反対																	
承認1号	承認	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案2号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案3号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案4号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案5号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案6号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案7号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案8号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案9号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案10号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案11号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案12号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案13号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案14号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案15号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案16号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案17号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 付議事件（追加）

発議1号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案18号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意1号	同意	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議2号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・承認・認定

※報告は採決がないため削除

# 慎重に審議を尽す

## 常任委員会報告

### 総務常任委員会

今議会において総務常任委員会に付託された案件は、次の2件である。

○議案第12号平成29年度菊陽町一般会計予算のうち総務常任委員会に属する事項について  
○議案第13号平成29年度菊陽町土地取得特別会計予算について  
3月13、14日に議案審議をおこない、15日に現地視察を実施した。

付託された一般会計予算総額は、34億4,700万円余であり、土地取得特別会計として、仮称光の森多目的広場の維持管理費が、計上され慎重に審議がおこなわれた。

主な内容は、次のとおりである。

#### 総務課

**問** 防災士の育成とは。

**答** 菊池市、合志市、本町と合同で防災士育成を推進している。受講生への助成金は、一人あたり11,000円。H29年度は、広く募集をしたい。

**問** 防災行政無線戸別受信機の移設手数料とは。また、レンタル等の考えは。

**答** 戸別受信機の屋外アンテナ設置の手数料。復興基金の活用を提案している。

**問** 人事秘書係

**問** ストレスチェック委託料とは。

**答** 専門の医療機関について相談や紹介をしている。

**問** 総合政策課

**問** ホームページ委託料で業者選定方法とバナー広告で経費削減を考えているのか。

**答** 業者選定方法は、\*プロポーザル方式、バナー広告については、検討する。

**問** 各教育集会所の使用状況はどのようなものか。

**答** 例年、馬場教育集会所では、週2回小学生学習会が開催されており、約90人の子どもたちが利用している。その他に青少年スポーツ交流学級や各中学校主催の学習会においても利用されている。また、入道水教育集会所は、月2回ほど学習会を実施、地域住民の交流の場として活用している。しかし、現在は熊本地震の被害で、両集会所は使用を中止している。



壊れた戸次地区の防火水槽

#### 税務課

**問** 固定資産税が前年度より1,300万円ほど減額になっている理由は。

**答** 主に償却資産の減少によるものである。

#### 財政課

**問** アスベスト検査の該当箇所はどこか。

**答** 1階フロアの執務室、2階庁議室及び大会議室の天井部である。飛散しないが含有しているため、年に2回おこなうもの。

#### 人権教育・啓発課

**問** 各教育集会所の使用状況はどのようなものか。

**答** 例年、馬場教育集会所では、週2回小学生学習会が開催されており、約90人の子どもたちが利用している。その他に青少年スポーツ交流学級や各中学校主催の学習会においても利用されている。また、入道水教育集会所は、月2回ほど学習会を実施、地域住民の交流の場として活用している。しかし、現在は熊本地震の被害で、両集会所は使用を中止している。

#### 総務法制係

**問** 個人情報保護制度対応支援業務委託料とは。

**答** 法改正に伴い、個人情報保護を図り、個人情報データの活用を促進等に対応するため、関連例規の改正、取扱マニュアルの改定、個人情報取扱業務のデータベース化をおこなうためのもの。

議案第12号、議案第13号  
全員賛成により可決。



地震の被害を受けた馬場教育集会所



非構造部材（つり天井）耐震補強が急がれる東部町民センター

# 文教厚生常任委員会

## 議案第12号

平成29年度菊陽町一般会計予算のうち文教厚生常任委員会に属する事項について

## 議案第14号

平成29年度菊陽町国民健康保険特別会計予算について

## 議案第15号

平成29年度菊陽町後期高齢者医療特別会計予算について

## 議案第16号

平成29年度菊陽町介護保険特別会計予算について

以上が付託案件である。委員会での質疑応答の概要は以下のとおり。

### 図書館

**問** 図書館ホールは建築当初に図書館として建てられているので、ホールとしての増築は難しいのではないか。

**答** 図書館の一部施設の増築ということになる。

H23年度に調査委託をし、3つほどの案を出している。予算の状況が許されれば、とりかかることができると考えている。

### 介護保険課

**問** 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業予定地区や整備内容はどのようなものか。

**答** 地区で主体的に介護予防のための定期的な体操教室を行う拠点となる公民館等を改修する補助金で、新山区を予定しており、改修内容はバリアフリー化であり、その総額は700万円である。

**問** 介護予防検診ウエルネスチェックは、どこで実施しているのか。

**答** ふれあい交流・福祉支援センター、杉並木公園管理センター、ふれあいの森研修センターの施設を利用して実施している。

**問** スプリンクラー整備事業は、どここの事業者を予定しているのか。

**答** 消防法の改正により「まごころ本舗原水苑」と「菊陽の郷デイサービスセンター」の2カ所にスプリンクラーが国の全額補助で156万7,000円で設備予定である。

### 生涯学習課

**問** 地域未来塾とは

**答** 中学3年生を対象に塾に通っていないことを条件に、夕方から寺小屋

的な補習授業になり、講師に教員OB、地域の方々にきていただき1時間実施している。

H29年度から武蔵ヶ丘中学校で実施し、今年は菊陽中学校も実施予定。

**問** 体育館の工事費と工事時期は。

**答** 復興基金への要望を出すのが、全額起債の予定。工事は春から設計に入り、夏休みくらいから工事に突入するように考えている。総額1億877万1,000円。

### 学務課

**問** (仮称)光の森多目的



(仮称) 光の森多目的広場

広場のテニスコートは撤去するのか。

**答** 学務課だけでは決めかねるが、撤去の方向で考えている。

**問** 武蔵ヶ丘北小学校は何人までの生徒増に対応

できるのか。

**答** 児童数の予測は、住民基本台帳の数を基にしているため、H34年頃までしか予測が難しいが、今回の整備で4教室は普通教室としても対応可能で、よほど増えない限り大丈夫と思われる。

### 子育て支援課

**問** H29年4月からの町立保育所での0歳児の受入はどうなるのか。

**答** 現時点で保育士の確保が見込めないため受け入れできないが、保護者の意向を踏まえ、23人を私立保育所で受け入れる。

**問** 光の森町民センター内の子育て支援センターの利用状況は。

**答** 多い日は、1日で親子30組の利用があり開所日は、月曜日から金曜日まで、1日5時間以上の開所。

### 健康・保険課

**問** 後期高齢者医療特別会計 人間ドック補助金は一人当たり2万5,000円、後期高齢者医療連合から1万5,000円補助があるのか。また、補助金の2万5,000円を超えた分は、本人が

負担するのか。

**答** その通りで、差額の1万円を町が負担し、補助金を超えた分は個人負担である。

### 福祉課

**問** 地域支え合いセンターは、どのような業務をおこなっているのか。

**答** 仮設住宅については、毎週火曜日と木曜日にある「みんなの家」を利用して週会サロンを開き、孤立予防や健康被害の予防をおこなっている。

また、仮設住宅に限らず、みなし仮設住宅や県営住宅等に入居されている被災者宅を電話や訪問するなどにより連絡を取り、困りごとを把握したり、必要に応じて関係機関につなぐ等の業務をおこなっている。

**問** みなし仮設住宅は何世帯か。

**答** 2月末現在で109世帯が入居している。

**問** 町外のみなし仮設に入居されている世帯も支援の対象か。

**答** 見守りが必要な方で熊本市のみなし仮設住宅に入居されている菊陽町からの避難世帯には熊本

市が、本町のみなし仮設住宅に入居されている熊本市からの避難世帯には菊陽町から訪問をおこない、被災者支援に係る必要な情報を提供することとなっている。

生活再建に向けた具体的な支援については、地元市町村がおこなっている。

**問** ニーズ調査は職員がおこなうのか。

**答** 郵送でおこなう予定。健康面、困りごと、住宅の再建予定等5〜6問程度の質問の中でニーズを把握していく。

**問** 入居者の入居期限はいつまでなのか。

**答** 仮設住宅の場合は、H30年7月4日まで。みなし仮設住宅の場合は、入居してから2年間となる。

**問** 2年経過した場合はどうなるのか。

**答** 自費による契約で継続して入居してもらうことになる。

現時点では、原則2年という期限があり、今後のことは町も県や国に働きかけをおこなっている。

# 災害ゴミ処理に多額の費用

## 災害復旧に関する予算

○解体ゴミの搬入・処理関連費として8億1,895万円余を計上。木はチップ化し、瓦・コンクリートなど、災害ゴミを極力選別・リサイクル加工を施し、最終処分量を圧縮する。

また、最終処分の協力を金として、553万円余を計上した。

○被災農業者の経営体育成支援として、2億9,814万円を計上した。津久礼井手支線や、深迫ダムからの送水管復旧には、各種負担金制度を活用して、農家の負担はない方向で進める。

○段差が生じているマンホールは、中がまだ落ち着いていないため、今後の状況を見極める。

○震災時要望が多かった、マンホールトイレは、町内19の指定避難

所を対象に取り組む。

○住宅の耐震診断のため、1,286万円を計上した。



深迫ダム

## 重点政策へ投資

○ふれあ館(さんふれあ)の改修費として、2,893万円を計上する。内容は、客室や厨房を改修して、タニタ食堂と連携した健康食メニューに改める。また健康増進機器を導入し、さんふれあで買い物をする際に、利用者には貯めた「健康ポイント」を、特典として使えるような構想を検討する。

○本町で産出する農産物の海外販売展開のための特産品開発の費用として、300万円を計上した。

○道路改良に、1億1,060万円を計上して取り組む。国庫補助の対象事業は、交付率が低い場合は実施されない事業も出てくる。

○農業委員会法の改正に伴い、新設の農地利用最適化推進委員は、農地の集積・集約を進めるのが使命で、法改正の説明費用として、22万円余を計上した。

## 開発許可に関する懸念出る

○宅地開発が進む住宅地で、袋小路(行き止まり)が増加している。これは歩行者を含め、通り抜けることができず、防災上も好ましくない。また、集落内開発の際にも、県の許可を得るという大きな課題が存在する。

町づくりに関する権限は県ではなく、市町村が主体的に取り組めるよう、法律の改正や県の意識改革が望まれる。

# 最終日に視察



タキイ種苗(株)

重光産業本社工場



古閑原町営住宅

平成29年度産業建設部関連予算案については、採決の結果、全員賛成で可決すべきと決した



西本 友春 議員

## 仮設及びみなし仮設利用者の 再建に向けたニーズ把握について

**答** 3月から4月上旬を目途に送付し  
回答をいただく予定

### 熊本地震復旧・復興計画

**西本** 防災拠点及び公的拠点に対して公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備をどう考えているのか。

**総務課長** 国の助成等を含めて対応したい。

**西本** 各避難所に必要情報を知らせる防災パネルの作成を提案する。

**総務課長** そういものができたらと考えている。

**西本** 町民センター等を地域住民が指定管理者になり運営する制度を、町はどのように考えているのか。

**総務課長** 先進地の事例を検証させていただき検討する。

**西本** 仮設及びみなし仮設利用者の再建に向けたニーズ把握をどのように考えているのか。

**福祉課長** 熊本県から再建に対するニーズ調査が提案されたので、他市町村と歩調を合わせて実施

する。

**西本** ニーズ把握はいつまでか。

**福祉課長** 3月から4月上旬を目途に対象世帯に送付・回答する予定。

**西本** 仮設及びみなし仮設の人が町営住宅を希望した場合対応は可能か。

**建設課長** 町営住宅・武蔵ヶ丘県営住宅・民間賃貸住宅で対応は可能と考えている。

### 空き家対策

**西本** 空き家の実態調査はどのような結果か。

**総合政策課長** 昨年の11月末現在、空き家件数173軒、利用可能29軒、改修が必要90軒、その他54軒となっている。

**西本** 実態調査を踏まえ、今後の空き家対策をどのように考えているのか。

**総合政策課長** 空き家対策協議会を設置し、総合的に推進する体制の整備も含めた計画を策定する必要がありと考える。

**西本** 新たな空き家となる可能性世帯への対策は。

**総合政策課長** 高齢世帯に対し意向調査を実施しており、高齢者対策も含めた総合的施策の構築が大事と思う。

### 子育て支援

**西本** 待機児童の現状と対策はどのようになっているのか。

**子育て支援課長** 現時点では昨年を上回るものと想定される。対策として保育所の入所定員を超えての弾力的運用と小規模保育所を中心とした施設整備を計り対応したいと考えている。

**西本** 0歳児の待機はどのようになっているのか。

**子育て支援課長** 対象の29人中23人は私立保育所への入所が決定し、昨日私立保育所に新規で7人決定したとのこと。保護者の方に確認しているところである。



小林久美子 議員

## 学校給食の無料化はできないか

**答** 今後の課題としたい

**小林** 給食費の全額ならびに一部補助を実施している自治体が全国で42

4ある。3分の1近い自治体が給食費の負担軽減に取り組んでいる。県内でも、荒尾市が小学校のみ全額補助をすることを決定した。この菊陽町でも給食費の全額補助ができないか。

**学務課長** 現在の学校給食費は小学校が月額4,100円。中学校は菊陽中と武蔵ヶ丘中で若干違いはあるが、月額5,000円。県内では全額補助をしているところが2

村、一部補助が14市町村で、全額補助と一部補助を合わせて、全体の35.6%で実施されている。しかし無料化については、年間約2億円程かかり、

現時点では学校給食の無料化は考えていない。

**小林** 県内では益城町は月500円の一部補助をおこなっているし、宇土市では多子世帯の補助を行っている。町でも一部補助からでも実施しても

られないか。

**町長** 近隣の状況も見ながら今後の課題としておきたい。

### 就学援助制度 入学準備金早めの支給を

**小林** 現在7月にわたさ

れている入学準備金の支給時期を入学前に実施できないか。(熊本市中では今年から3月に支給するとなっているが)

**学務課長** 7月に支給しているところを、2月か3月に前倒しでするとなると、就学援助規則等の

見直しが必要となるので今後検討していきたい。

### 公立5園を一挙に 民営化するのは問題

**小林** 白鈴園や、さくら園などの人口が集中しているところを、公立の拠点として残すべきではないか。

**町長** なかよし園と、みどり園を子育て支援の拠点として発展させていきたい。

**小林** 町長は公立と私立のバランスは取れている

と言われるが、西部のほうには問題がある。公立保育所は、児童の生活を保障する福祉の役割を担ってきたので、今後とも存続してもらいたい。



甲斐 榮治 議員

道路新設補助は減る傾向

**甲斐** 道路の新設等への国の補助は今後減るのではないか。

**建設課長** 高度成長期以降に整備されたインフラ（道路・橋梁・下水道等）の老朽化が進んでいる。新設よりも計画的に施設更新をおこない、長寿化を図る必要がある。

近年、国の交付金の配分率が低下しているので町の事業に優先順位をつけたら、先送りをして、これに対応している。

菊陽空港線が開く未来

**甲斐** 町道菊陽空港線の馬場踏切付近の高架化に至る経緯及びその延伸と沿線の開発構想はどうなっているか。

**建設課長** 馬場踏切付近については、平面交差はできないかと、県に打

菊陽空港線馬場踏切付近の立体交差と  
中九州高規格道路への接続による  
町の将来展望は

**答** 立体交差は実現・経済活性化に好影響

診していたところである。通学路の安全確保のための短期的・暫定的な処置だった。このほど県

から「県道熊本菊陽線の交差点とJR馬場踏切が接近しているため、安全

上、平面交差は認めがたい。県道新山原水線までは県が立体交差を整備する」と回答をもらった。今後、全線県施工をめざして交渉してゆく。

**町長** この道路は、セミコンテクノパークにつながり、将来は中九州高規格道路に接続する。南部の方では、県の大空港構想とも関連し、経済的にも非常に重要な道路だと位置づけている。

都市計画課長

この道路の沿線に、原水台地、久保田台地、南小校区がある。これらの地域の



菊陽空港線 馬場踏切付近

西部地区の道路構想

**甲斐** 西部地区道路構想（尚綱大学南側道路）に

は地域住民も期待しているが、起点（九州自動車道側道）と終点（武蔵ヶ小南側町道）に混雑が予想される。

**建設課長** 起点側では、

高速道を潜るにも側道を改良するにも費用対効果の問題がある。終点ではいくつかの箇所での混雑解消の課題がある。検討を要する。

（この他に4つの質問を実施）



北山 正樹 議員

役場庁舎等の増改築の計画は

**答** 長寿命化に取り組んでいく

**北山** 役場本庁舎はずでに38年を経過し、手狭でスペースに余裕がない。人口は当時に比べ2倍以上になり、予想は23年後まで増加し続ける。職員

は書類に埋もれて業務をしているし、昼食休憩時間も来庁者の目を意識しながら、休憩にはなっていない。会議室も少なく、業務に支障が出ており、増改築の検討は必須である。

また、図書館ホールには、リハールサル等の準備スペースがなく、利用者から使いづらいとの声がある。

**町長** H22年の耐震補強

工事で、昨年の地震による被害は軽微にすんだ。国からの財政支援は財政力の高い菊陽町などには配分が少ない傾向である。諸々の施策に厳しい財政運営が迫られている状況から、施設の長寿命化に取り組んでいく。

**図書館長** 過去に調査を行ったが、小中学校の改

築などで先送りした。改めて見直す方針である。

**北山** ふるさと納税制度では、650万円ほどが他の自治体に納められ、税収減となった。同制度の趣旨を踏まえて、寄付の呼びかけをするなど、財源を確保することは重要だ。

防災士の育成方針は

**北山** 災害に対する啓発活動をおこなえるよう、

また、発災直後は行政が対応できない事柄も明確にするなどして、町民を災害から守るために、防災士制度を活用すべきと考ええる。

**総務課長** 防災とは、日

ごろの訓練・知識の習得が大切で、一定の資格を得た防災士は、自助・共助・協働の理念のもと、町民に対し防災意識の啓発・防災活動の支援などをおこなう。同制度は、

本町全体の防災力向上と自主防災活動の促進に寄与するもので、組織化を

図りながらリーダーとして育成していく。

保育士の処遇改善策は

**北山** 町営保育士の確保が困難になっている。本町は臨時採用の保育士が多く、待遇や仕事へのやりがいといった面の改善を要する。今後の町立保育所の役割として、病後児や何らかの理由で集団保育が困難な児童などに手厚い保育を提供することが望まれる。今後の方針は。

子育て支援課長

これは全国的な現象だが、本町でも保育士に対する調査では、今後の雇用継続・勤務を望まない人が望む人より多く、必要な保育士を配置できない状況になっている。対策として賃金の水準・労働条件を再度見極めつつ、処遇改善を図りながら正規の保育士を充てていく。



大塚 昇 議員

## 町立保育所5園の民営化計画と議会の議決について

**答** 議決事件としてなじまない

**大塚** 町立保育所民営化計画についての説明は丁寧におこなわれているが、議会の議決はどの時点か。

**子育て支援課長** 長と議会は対等かつ独立の関係として異なる権限を有している。議決事項に行政の具体的な実行計画・今回の保育所民営化計画等は議決の対象になっていない。法令改正や施策の変更に対応し適宜見直しを図ることから、議決事件としてはなじまず、議会の議決に付すことは考えていない。

**大塚** 議会の議決・法96条の「条例を設け、または改廃すること」とあるが、それには当たらないのか。

**副町長** 地方公共団体の長も議会議員も共に住民が選ぶものであり、どちらが絶対正しいものではない。それぞれ権限があり、法には議会は議決案件のところで議決し決議すると書いてある。

### 南小校区の活性化について

**大塚** 集落内開発制度は一定の成果をあげているが、他地区と比べると不安がある。今後、定住促進をどう進めていくか。

**都市計画課長** 南小児童も17人増加し減少から増加に転じ一定の成果ではある。今後、単一的な施策・事業でなく農業の活性化、企業誘致、鼻ぐり井手公園等地域の核となる公共施設の充実も進めていく。将来的な施策として集落の南側に新たな

**大塚** H21年の民営化計画では議会の議決が必要だと答弁されている。な

道路を計画・整備し広域的な幹線道路と位置づけさらなる活性化を図っていきたいと考えており、また、県が主導・推進する「大熊本空港構想」で厳しい土地利用制約も規制緩和に向かうのではないかと期待している。

**町長** 南小校区の開発関係というのは非常に厳しいところがある。活性化をしながら実現できるようなところで引き続き取り組んでいく。

**大塚** 白水台地の抱える課題も含め農業をどう進めるか。

**農政課長** 農地の集積・集約と大区画化は避けて通れない。農業用施設の維持管理の軽減策を考えないと農地の荒廃を招き町農業の衰退につながる。国の事業や町の担い手規模拡大交付金など、安定経営を支援しさらに拡充していく。

**大塚** H21年の民営化計画では議会の議決が必要だと答弁されている。な



阪本 俊浩 議員

## 白水台地の農業用水は確保できるのか

**答** 深迫ダムの水を確保するのが一番大事だが、井戸掘りも要望していく

**菊陽空港線の延伸計画は**

**阪本** 今までに何度となく質問されてきたが、現在の進捗状況は。

**建設課長** 今年1月に熊本県より、県道新山原水線までは、JR馬場踏切の立体交差により県で整備すると正式に回答をいただいた。

**阪本** 日ごろの生活や経済、昨年の熊本地震もふまえ、有事の際の活用はどう考えているのか。

**建設課長** 災害緊急時に物流で物を運ぶ道路、空港と各避難所及び拠点施設を大きな道路で結ばなくてはならないことを今回の地震で気づいた。今後、「防災に強いまちづくり」の構想に近づけていきたい。

**阪本** 菊陽町には、東の空港大橋、真中に鼻ぐり大橋、西にみらい大橋と3本の大きな橋が白川

に架かっている。これをあらゆる方面から活用すべきだ。

### 農業用水について

**阪本** 大堀木区内の津久礼井手に堆積する土砂の撤去はできないのか。

**農政課長** 農家に負担がなく、事業費を国、県町が負担している多面的機能支払交付金事業で取り組んでいただきたい。農家でできない事は業者委託の方法もある。

**阪本** 上井手の通水状況はどうなっているのか。

**農政課長** 土地改良区では、現状のままでも十分な水量は流せることと、水稲やWCSの作付けには影響ないと考えている。

**阪本** 昨年12月の那須議員の質問に対し、3月本復旧、4月から通水との答弁であったが、土地改

# モニターの熱意に支えられ次のステップへ

## ―議会モニターの初年度―

議会モニターとは、第三者の目を入れて、議会の運営について参考意見を提出してもらう制度である。発足直後に大地震に襲われ、議会としては満足な対応ができなかったが、モニター各氏の熱心さに支えられた。次のステップにつなぐために、虚心に初年度をふり返る。

### 開始直後に熊本地震

昨年4月、本議会初の試みとして、議会モニターの募集が開始された。

「開かれた議会をめざして町民目線の意見を聴き、議会運営の改善に役立てる」という目標であった。1小学校区2人づつ計16人でのスタートを図ったが、応募は男女それぞれ6人に止まり、居住校区も均衡がとれなかった（中部小3人・西小2人・武小1人）。

そのような中で、4月14・16日、熊本地震が発生。再募集や調整の余裕もなく、議会モニター制度は第一歩を踏み出すこととなった。議会側の説明も諸準備も十分でないまま、将来の充実を期してのスタートであった。

### 初代議会モニター氏名

(順不同・敬称略)

大坂筒えり子	津久礼
井上 鈴子	津久礼
田中 成美	久保田
浅川 孔貴	久保田
西本 憲二	久保田
井之口明洋	武蔵ヶ丘

### しっかりと応募動機

応募された方々の動機は多様だが、しっかりと基盤に裏打ちされたものであった。要約したものを例示する。

○国政と地方政治とのギャップをどうやって埋めるか、地方政治を効果的に活かす方法を考えたと思った。

○転入者として町のことや議会のことを知り、町のために自分は何ができるのかを判断する第一歩に

したい。

○菊陽町民の中には議会への無理解や無関心が蔓延し、町議会と町民の距離はまだ遠い。民主主義を実感できる町政の実現を期待している。

○菊陽町の向かう方向が最近見えなくなった。人口が増えることによって色々と見直す必要があると思った。

○第5期菊陽町総合計画後期基本計画に沿って町政が動いている。各議員の意見を聴きたい。

○町政に関心がある。間接ではなく、直接に情報を集め、一町民として真剣に町政を考えたい。

○町政に関心がある。間接ではなく、直接に情報を集め、一町民として真剣に町政を考えたい。



モニターと議会の意見交換

④自分の興味のない議題には傍観している議員がいる。

### 議会の対応は不十分

議会モニター各氏はその後本会議や各種委員会を傍聴したり、それができない場合には、インターネットによる録画で議会の様子を視聴し、感想を残した。

しかし、議会の側でその意見を聴く場を設けることができず、意見交換は極めて不十分であった。

### 質問は二の矢三の矢を

意見交換会で

この反省にたつて、3月17日、三里木町民センターで、議員全員が出席して、議会モニターとの意見交換が実施された。モニター側は、男性3人の出席があった。指摘された主な点は概略次の通りであった。

①モニター制度の取り組みは画期的である。続けてほしい。

②議員の意見表明が少な過ぎる。

③フェイスブックなどのSNSの活用を工夫した方がよいのでは。

④自分の興味のない議題には傍観している議員がいる。

⑤問題の本質を的確に掴むことが必要である。

⑥質問の棒読みはダメ。自分の言葉で生きた質問をするべきである。

⑦議事に対する態度に疑問のある議員がいる。メモノなどとはどうか。

⑧執行部に対する質疑はもう少し突っ込む方がよい。二の矢三の矢がないと緊張感もない。

⑨討論が乏しい。どこで

納得したのか、しなかったのかよく解らない。

⑩(複数のモニターから)居眠りしているように見える議員が見受けられた。これらに対して、議員からも活発な意見の表明があり、次につながる建設的な会合となった。特に本会議における自由討議はこれからの中心的課題になると思われた。

## 《交換会に出席できなかった

## モニターの見解》

●菊陽町の実態を知る機会となりよかった。しかし議会モニターの方針も決まっていなかったよう、徒労感もある。

●議場に入る時には、受付簿に「校区名、氏名、性別」を書かねばならない。これは議会傍聴を特別なことにし、バリアとなっている。

議会傍聴後に町民と議員の意見交換の手段が見られる。記入を見直しができたり、モニター間でまとめた意見を議会に提出し、その答えをフィードバックしてもらえればモニター活動の意味合いも出てくると思う。

●政務活動費を使った理由、また使わなかった理由をオープンに語ってもらう機会を作ってはどうか。

# 報告

## 議会活性化 推進特別委員会

### 運用規準づくりに努力

菊陽町議会活性化推進特別委員会（以下、「推進特別委員会」という）は、H27年第2回定例会（6月議会）において改選前の菊陽町議会活性化特別委員会（以下、「活性化特別委員会」という）の設置趣旨を尊重し、更なる議会活性化の推進を図ることを目的として設置された。

H27年度は8回の会議を開催したが、H28年は熊本地震の影響もあって中断したところである。設置当初においては、改選前の活性化特別委員会において検討された各種課題の中で、改選後へ繰越された課題の共通認識を図るとともに、今後の推進特別委員会の進め方、方針等について会議をおこなった。

そのため、委員会主義への移行を検討する必要がある。ただし、議会活性化において委員会主義の採用と委員会の充実とは厳に区別すべきものである。

推進特別委員会としては、菊陽町議会基本条例（以下、基本条例という）をいかに運用するかが議会活性化推進の目的達成の第一義であると考え、基本条例の逐条検討のなかで運用基準の策定をおこなった。ただし、活性化特別委員会から繰り越された課題（委員会主義、自由討議、予算審議定数、報酬）については、運用基準策定後に検討をおこなうこととした。また、逐条検討と併行して各方面から提案があった事項については、適宜検討をおこなった。

推進特別委員会として、菊陽町議会活性化については、活性化特別委員会からの課題等、検討協議すべき点はまだ多い。ただ、新しい制度等の導入においては地に足の着いた検討協議をおこない、議会活性化の推進を図っていくことが推進特別委員会における総意である。

また、推進特別委員会における基本条例の運用推進を掲げての検討検証は、運用基準の策定により第一義としての目的は達成、今後運用の検証をおこなわねばならないということが推進特別委員会の総意でもある。ただ運用基準による検証は全議員によることが、多様な意見の収集になり、より充実したものとすることが委員全員で確認された。

### 基本条例について

基本条例第1章より第9章の全21条につき逐条検討をおこない、運用基準として14項目を策定する。

### 通年議会について

現在、菊陽町議会は本会議主義を採用（菊陽町会議規則第39条）してい

## 地域活性化等対策特別委員会

地域活性化等対策特別委員会の目的は、地域が抱える様々な問題・課題について調査し、それを基に地域の活性化に向けた対策を講じ、行政・諸団体と連携、情報を共有し地域の住民、企業と共に諸問題解決に取り組むことを目的に設置したが、H28年4月の熊本地震の影響もあり、また熊本地震災害復興支援特別委員会が設置されたので、H29年3月17日の活動報告をもって、地域活性化対策調査特別委員会活動を各常任委員会に引き継ぐ。

### 活動報告

委員会は2部会制とし、それぞれの課題について調査した。

### 市街化調整区等調査部会

地域住民からの要望が強い、東部地区の課題や開発に向けての調査や定住促進・空き家対策・県道の延伸・企業誘致県営野球場誘致などの課題を調査し地域活性化の取り組みの促進を目的とした。

白水地区活性化協議会との意見交換の内容。

- ・少子化が進み南小学校の生徒数が心配（複式学級の問題）。
- ・議会の動きが見えない。
- ・老人会、婦人会が少なくなってきた。
- ・農政、農業委員会との協議不足。
- ・農地法などの勉強をしてほしい。
- ・集落内開発の問題。

### 中心市街地等

#### 対策調査部会

人口集中地域を中心に、空き家対策・光の森周辺の渋滞緩和・九州産交バス営業所移転に伴う交通問題・光の森、三里木原水駅前賑わい促進など中心市街地としての課題を調査し課題解決に取り組むことを目的とした。

近年の傾向として特に比較的若い世代は、コミュニティに入るのを嫌う傾向にあり、特に人口の少ない地域には、永住するのは難しいかもしれない。しかし、10戸以上の分譲が可能であり、地価が安価であれば、それを求めてくる方々も現れるのではとの意見であった。

### 委員会勉強会

菊陽町で不動産業を営む奥村氏から白水地区の開発に伴う現状と、これからの展望について委員会全員で意見をうかがった。

地域活性化等対策特別委員会の当初の目的は、熊本地震の影響もあり達成できなかったが、地域の問題に目を向け意見をうかがったことは評価していたとき、今後の活動に繋がったと考える。

- ・駐車場が少ない。
- ・夜が暗く、安全な歩行空間がない。

# マイタウン

## 穀雨祭がおこなわれました 4月21日(金)



水神さまに今年も程よく雨が降り水災害もなく農作物が良くできること及び五穀豊穡を祈願する穀雨祭が上井手頭首工で行なわれました。この日は100人を超える農業に関わる方々が集まり祈願されました。



### 鼻ぐり井手ガイド

#### ボランティア



ボランティアガイドの皆さん

※牛の鼻輪の穴に似ているから「鼻ぐり」!

連休中に鼻ぐり井手ボランティアガイドの皆さんに話を聞きました。とにかく勉強して解りやすい、身近な存在であることに努力されているようです。

県知事やタモリさんも訪れたこの場所への熱い思いを聞かせてもらいました。ぜひ知識、経験を活かし、町のためにがんばっていただきたいです。本町の歴史もなかなか興味深いものがありました。



### 復旧 復興支援



#### 菊陽町在住の若者からのメッセージ

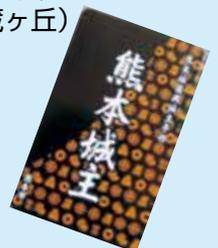
## みんなで熊本城を応援しよう!

皆さん、はじめまして。武蔵ヶ丘に住んでいます。熊本大好き三池 愛です。今、熊本市での取り組みで、いいね!と思うことがあるので、この場をお借りして呼びかけをさせていただきたいと思います。

“城主になってみんなで熊本城を応援しよう!” 皆さんは、県外から帰って来て熊本城が目に入ると「熊本に帰って来たな」とホッとした経験はありませんか。いつもそこに居てくれる。堂々と立って見る人に勇気を与えてくれる熊本城は、県のシンボルであり大切な財産の一つです。現在、復旧工事中の熊本城ですが、そこには莫大な費用と長い時間、そして工事を進めて下さっている、たくさんの方々がいらっしゃいます。工事のお手伝いはできませんが、寄付という形でお城を応援することはできます。日頃のお城への感謝を込めて、皆さんも城主になって熊本のシンボルを応援しませんか。



三池 愛さん  
(武蔵ヶ丘)



# 屋久島訪問記

いにしえから今へ繋ぐ縄文杉の生息地 屋久島町（姉妹町）へ行って来ました

(一日目) 鹿児島港（南埠頭）



所要時間2時間 45分

屋久島（安房港）

（種子島経由）



屋久島町議会議員との意見交換の様子

## ◆屋久島町議員7人との意見交換会をしました

（屋久島町から）

□永良部島の噴火に伴う災害の対応や南海トラフ地震への対策の話がありました。

（菊陽町から）

平成28年熊本地震における菊陽町の状況や今後に向けての議会としての対応を報告しました。



菊陽町のブースに長蛇の列

(二日目)



→ 屋久島町ふるさと産業祭り会場へ



議員も販売に一役

## ◆場内を視察研修

毎年楽しみにしているお客様は目あての物を早く買いたいと販売時間の前から並ばれて長蛇の列ができました。

皆さんの購買意欲に屋久島町の活気を感じました。

屋久島の皆さんお買い上げありがとうございました。

特産の人参やトマト等のPRと共にレシピを一人一人のお客様に伝え喜んで買っていただきました。

たくさんの皆さんとの出会いに感謝し、両町の絆を益々強いものにしました。また、お客様の中には御主人の転勤で屋久島町に住んでおられる菊陽町出身のかわいい奥さんにもお会いしました。屋久島で楽しい思い出をいっぱい作って下されば幸いです。

町関係者と共に一期生議員5人で訪れた屋久島町は『豊かさとは何か』を教えてくれるまちでした。皆さんもぜひ一度おでかけ下さい。

## 平成28年度菊陽町議会政務活動費実績一覧

(単位：円)

議員氏名	交付額	支出額					返還額	
		研 開	修 催 費	調 研	査 費	資 料 購 入 費		広 聴 費
大久保 輝	240,000						0	240,000
阪本 俊浩	240,000						0	240,000
西本 友春	240,000						0	240,000
那須真理子	240,000					41,424	41,424	198,576
佐々木理美子	240,000						0	240,000
中岡 敏博	240,000						0	240,000
吉本 孝寿	240,000			79,424			79,424	160,576
吉山 哲也	240,000					19,440	19,440	220,560
北山 正樹	申請なし						0	—
坂本 秀則	240,000			155,064	54,648		209,712	30,288
石原 武義	240,000						0	240,000
岩下 和高	240,000						0	240,000
大塚 昇	240,000						0	240,000
川俣 鐵也	240,000						0	240,000
上田 茂政	240,000						0	240,000
小林久美子	240,000						0	240,000
甲斐 榮治	240,000			155,064			155,064	84,936
渡辺 裕之	240,000			154,389	1,620		156,009	83,991
合計	4,080,000		0	543,941	117,132		661,073	3,418,927
構成比			0.0%	82.3%	17.7%		0.0%	100%

# ありがとうございました

## 災害時緊急対応をされた皆様 特集③



菊陽町消防団 団長  
有村 英敏さん

Q 熊本地震直後の消防団の対応についておたずねします。

A 電話（携帯）が繋がらず消防団員の招集もできない中、対策本部と連携をとり対応しました。地元住民の安否確認、避難所への誘導、その後、支援物資搬入の荷降ろし、要支援者への物資の配布等をおこないました。不審者の情報があり、警戒巡視、また火災に備えて消火栓・防火水槽の点検確認をおこないました。

Q 今まで経験したことのない災害でしたが、どのようなことに気がつけましたか。

A まず団員の安否確認が心配でした。寝る間もなく頑張ってくれる団員たちの健康管理にも気を使いました。朝から晩まで、ペットボトル1本しか飲んでいない団員もいました。

Q 復旧作業中うれしかったこと、これから考えなければならないことをお聞かせ下さい。

A 自助、共助の立場で共に助け合う精神で、「誰かが助けてくれる」ではなく、まずは自分で守る、そして他人を助けたいという動きを指示を出さずとも、団員各自でおこなってくれたことがうれしく思います。我々消防団員は、住民の身体、生命、財産を守るという使命と義務があります。今回、避難者から「消防団がいてくれてありがとう」、「消防団がいて安心できる」等、団員に声をかけていただいたことが大変うれしく感じました。

消防団を否定する言葉を耳にすることもありますが、今後も消防団員の安全を確保できるよう訓練、実践に頑張っていきたいと思いますので、ご協力、ご理解をお願い致します。



6月議会の開会日は、  
6月6日(火)の予定です。

くわしい日程については、議会事務局  
096-232-4919 にお問い合わせ下さい。

### 表紙の紹介

4月1日(土) 富士フィルムのさくら  
祭りで菊陽中学校吹奏楽部がオ  
ープニングを飾りました。

## 傍聴者の声



議会だよりについては毎回楽しみにして、熟読しております。大津町の議会だよりと比べて読んでおります。違いや考え方の共通点、相違点がわかり、ある面興味深いものがあります。新しい施設、ハコモノを作ることに目が向かいがちだが、財政負担、当然発生する維持管理費について、それ以上の考慮を行ってほしい。現在の施設の有効活用、民間活用、住民参加、いろいろ手段はあると思います。創るより“生かす”発想で。国、県への、これ以上の借金は止めてほしい。子孫の負担の先送りには、罪だと思えます。

原水 66歳 男性



## 編集後記

中岡 敏博

菊陽町議会が発行する議会だよりを毎回読んでいただき、ありがとうございます。個人的に言えば広報委員として、議会だよりに関わり7年目になります。思い返せば、お亡くなりになりました、前広報委員長の梅田清明氏の勤勉、懸命さを受け継いでいただいていることは、間違いありません。また、現在の委員の皆さんが積極的に意見、提案を出し、自分が担当する仕事に責任を持って実行してくださっていることに頭がさかります。

もう、私の役割は終わったと言っても過言ではありません。町民の皆様のご代表、代弁者として議会に出ている議員です。意見や考え方の違いは当然あります。議案に対しましては是々非々で意見を出し合います。しかし、広報委員会では目的を共通のものとして、お互いに協力していくことが、多くの町民の皆様が、読んでもらえる広報誌の作成に繋がるものだと思います。

言葉の使い方では、できるだけ会議の表現をそのまま掲載することもあります。読んでいて違和感や疑問がありましたら、教えてください。ただきますと、次に活かしていけると思っています。

今後とも議会だより「きくよう」及び広報委員会をよろしくお申し込み申し上げます。

### みんなの議会 傍聴は、お気軽に

#### 議会からのお願

議会だより取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に伺うことがありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

#### 発行責任者

議長 渡辺 裕之

#### 編集者

委員長 甲斐 榮治  
副委員長 中岡 敏博  
委員 佐々木理美子  
委員 那須眞理子  
委員 阪本 俊浩  
委員 大久保 輝

この議会だよりは再生紙を使っています。